

K012

- T: はい, じゃあ, こんにちは。
- I: こんにちは。
- T: はじめまして。
えっと, あたしは, あの, 【T (名)】といます。
よろしくおねがいします。
- I: よろしくおねがいします。
- T: えっと, すみません, 〈はい〉お名前を…
- I: 【I】と申します。
- T: 【I】さん。
- I: はい。
- T: 【I】さんっていうのは, あのー, 日本に来てどれぐらい, ですか?
- I: えっと, 今回が三回目なんですけど 〈ええ〉, 今回は, うーんと, 今, 5ヶ月くらいです。
- T: あー, そうですか。
- I: はい。でも全部あわせて 〈ええ〉, もう10年くらいいます。
- T: あー, 失礼ですが今おいくつですか?
- I: あっ今21です。
- T: あっ, じゃあ, もう, あの, 半分ぐらい日本で, 暮らしてらっしゃる。
- I: あー, そうですね。
- T: あー 〈はい〉。
えっ, 普段は, えっと, っていうか, お国はどちら, ですか?
- I: あっ, ブラジルです。
- T: ブラジル。
あー, そうですか。
えっと, じゃあ, 日本とブラジルっていうのを行き来してらっしゃるんですか?
- I: はい, なんかいっつもいったりきたり…
- T: あー, そうですかー。
- I: しました。
- T: あの, いったりきたりで 〈はい〉, こう日本とブラジルを比べてみて 〈はい〉, こう違うなって思うようなところってありますか?。
- I: あっ, 全部違いますよね。
- T: あー, そうですか。
- I: はい。
ただ, まあ, 自分は小さい頃から 〈ええ〉, もういったりきたりしてるので 〈ええ〉, あの, まあ, 慣れてる, と思うんですけど 〈ええ, はー〉, 全然, 難しい面とかはあんまりないんですけど 〈ええ〉, やっぱり, なんでも全部違いまます。
- T: ああ, えっと, 違うなって言う, まあ, 自然に, こう, うまく対応なさっていると思うんですけど, 〈あっ, はい〉 ちょっとこう意識して, ここはっていうようなところってありますか?。
- I: んー, まあ, 意識, 意識はし, 意識してやってるのかどうか分からない 〈はい, はい〉ですけど, やっぱり, うーん, 日本に来ると 〈うん〉, みんなすごく気を使うんでうすよね 〈はー〉, なんか, 人と接するときに 〈ええ, ええ〉。
で, まあ, ブラジルではもう, あの, ぜんぜん気楽に 〈ええ, ええ〉, 何でも言いたいこと言っても大丈夫だし 〈はー〉, なんかよく, 日本では, まあ, いっつも, あっ, すいません, とか, 失礼しますとか 〈うん〉, 挨拶とかも 〈うん〉, なんか, 結構違って 〈うん〉, 食べるときにも 〈うん〉 いただきますが, ごちそうさま, とかいうんですけど 〈ええ〉, 向こうではそういう挨拶とかはあんまりないし。
うん, …
- T: はあー, その気を使うっていうことが, 別に, 特にそれが, あのー, なんていうか, 負担にはなっていない…
- I: あー, ならないです, はい。
- T: んですよ。
- そのなんて言うんですか, その国の違い, 〈はい〉 っていうのは, あの, **言葉とか, 〈はい〉 社会とか,

K012

人々の様子とか、そういう点で特にどういうところに出てると思いますか？。

I : んー、まあいろんなところに出てるんですけど〈うん〉、やっぱり、まあ、人とかもぜんぜん違います〈はい〉。

んー、あの、向こうの人は〈うん〉、すぐにすごく親しくなれるんですけど〈ええ〉、あの一、んー、なんか、日本人だともう少し難しいかなって感じはします。

T : はい、そうですかー。

I : なんか、んーまあ、親しくなるのに〈うん、うん〉もう少し時間がかかるかな〈はい〉。

あと、んー、お店とか、の〈はい〉接客とかが〈ええ〉ぜんぜん違います。

T : あー、そうですかー。

I : まあ、〈んー〉うん、なんか日本のほうが、あの、ちゃんといっつもお辞儀、してくれて〈ええ〉、いらっしやいませとか、〈ええ〉ありがとうございます〈ええ〉って言うんですけど、向こうでは、こうお店、に入っても、まあ普通に、なにか、んー、なんていうのかな、「何かお手伝いしましょうか」みたいな感じで、〈ほおー〉なんか、〈ふーん〉すごく違います。

T : あー、そうですか。

あの一、こう、接客とかまあ色々違いがあると思うんですが〈はい〉、友達ができやすいとかできにくいってということで、こう特に、あの一こう面白い経験をしたっていうようなことってありますか？。

印象に残ってること。

I : んー、まあ、印象に残ってるのは〈ええ〉、んーと、小さい頃日本にいたときに〈ええ〉、水泳をはじめて、〈はい〉なんか、そのときに、友達、なんかすぐに友達が作れ、ない感じで〈へー〉、なんかと、んー、なんだろう、まあ自分が子供だったこともある〈うん〉と思うんですけど〈うん〉、なんか、その、んー、友達を作る、時に〈うん〉、まあ、例えば誰かに声をかけて、〈うん〉友達になりませんか、って〈うん〉感じで〈うん、うん、うん〉、そういう感じで始まったと思うんですね〈うん〉。

で、やっぱり向こうでは〈うん〉、なんか、もう自然に〈うん〉、知らない人でも〈うん〉、なんか、よく話をかけたりして〈ふーん〉、なんか、すぐに自然に友達になっっちゃうんですね〈ふーん〉。

もう普通に、例えばバスの中にも、〈うん〉なんか知らない、隣の人に〈うん〉、声をかけたり〈うん〉、もうそれでなんか話がどんどんすすんじゃうんです。

T : あー、そうですか。

ただ、〈はい〉あの一、【I】さん、失礼でけど、〈はい〉ぱっと見たら、日本人に見えますよね。

I : あー、そうですよね。はい。

T : で、日本の中で日本人が歩いていてもそんなに目立たないけれど〈あー、はい〉、あの一、まあ、ブラジルですか〈はい〉、ブラジルにお帰りになったときに、ま、周りの人日本人だと思って…

I : あー、やっぱり…

T : 珍しいと思って声をかけてきてくれてるって事は無いですか？。

I : んーと、日本人だとは思われないんですけど〈はい〉、あの一、まあ、やっぱり顔とかが〈ええ〉違うので〈ええ〉、や、あの一みんなから〈はい〉、あの一、まあ、日本人日本人って、っていう、なんか、ニックネームっぽい呼び方〈うん、うん、うん〉では、呼ばれるんですけど、〈うん、うん〉ぜんぜん向こうではブラジル人だし〈うん〉、うん、む、こっちにきても〈うん〉、うん、まあ、ぱっと見たら外国人だって分からないかな。

T : そうですね。

ただ、【I】さんはこう、気持ちとしてはどちら？

I : 私はブラジルです。

T : あー、そうですか。

そういう風に思われるのはどうしてですか？。

I : んー、多分、ブラジルで生まれたから〈あー〉だと思います。

あと、なんか、12歳から、18歳はブラジルで〈はい〉、なんか、結構、いろんな、なんか、楽しいとか〈はい〉、ある、時期だと思うし、〈うーん〉なんかそういう、いろんな面白いことを〈うん〉、向こうで〈うん〉、経験したので、うん。

T : あー、そうですか。

その社会の問題、で例えば日本っているのはよく閉鎖的だって言われますよね。

I : あー、はい。

K012

T: でも、あの、今たぶん、きや、多文化共生とかそういうふうに言われていますけど〈はい〉、そういう点で考えると日本とブラジルは、あのどっちが、どう…

I: んー、どうだろ、まあブラジルは〈ええ〉、なんか、日本、まあ、今では外国人とかいっぱいいるんですけど、あのー、やっぱり、昔、はあんまりいなかったんですよ〈うん〉、日本には〈うん、うん〉。

で、ブラジルは、もうほんとに始まったときから〈うん〉、あの、いろんな国の人たちがいて〈うん、うん〉、もういろんな、まあ黒人とか〈うん〉あの、白人とか〈うん〉、黄、まあ黄色い人な〈うん〉、いろんな人が〈うん〉いるから〈うん〉、もう、ほんとに、あの、まあ、日本人って呼ばれたりはするんだけど〈うん〉、もうほんとにいろんな人がいて〈うん〉、ぜんぜん向こうでも目立たない感じなんです。

T: あー、日本だと目立つ？

I: んー、外国人っていうと、なんか、やっぱり〈あー〉、違うかな。

T: でもぱっと見たら日本人には見えるけれど〈あー、はい〉、外国人と分かったときってということですか？

I: うーん、なんか、ちょっと、うーん変わるかな、接し方が。

T: あー、そうですか。

ふーん、なんか…

I: まあ、もちろん〈うん〉、興味を持ってきて〈ええ〉、なんか、いろんな話をしたいっていう人もいるし〈ええ〉、あー、なんか、外国人っていうと〈ええ〉、ちょっと、なんか、足を引いちゃう人も〈あー〉いるかな。

T: あー、そうですか。

I: うーん、気を引くって言うのか…

T: 気を引く？

I: なんていう、よくわからないんですけど。

T: はい、えーと、…

I: なんかこう、うーん、多分向こうが、あつ、どういう風に接すればいいか分からないから〈はい〉、ちょっと、遠慮しちゃうっ〈あー〉てかんじかな。

T: そうですね。

あのー、まあ、日本の場合は、最近外国人が増えてきて〈はい〉、まあ、多文化共生って言ってもなかなか進まない状況がありますよね〈あー、はい〉。

さっき、あのー、確かにブラジルは、前から、あの、色々な国〈はい〉の人がいて、どんどん声をかけてくれるって言いましたが〈あー、はい、うん〉、でも、まあ、治安とかそういう点で言うと、…

I: あー、すごく悪いです。

T: かなりね、色々な問題があると思うんですが〈はい〉、それでも、やっぱり、ブラジルのほうが、友達になりやすいって、おっしゃるのは、どういう点に良さがあるんでしょうね？

I: んー、多分、んー、まあ、いろんなことが関わってくると思うんですけど〈うん〉、あと、あたしも、あの、小学校の頃は、なんか結構い、あのー、まあ、ちょっといじめられたりしたんですね〈うん〉。

外国人だから〈うん〉っていう感じで。

T: それはどちらで？

あ、や…

I: あつ、日本でです。

T: 日本で。

あー、そうなんですか。

I: まあ、もう今からね、十年以上前だから〈はい〉たぶん外国人もあまりいなかったし〈ええ、ええ〉、んー、なんか、いじめられたりもして〈ええ〉、ずーと、あー、もう帰りたい帰りたいって考えてて〈ほー〉。

たぶん今まで〈ええ〉、あのー、そういう、ブラジルに住みたいっていう気持ちがあるんじゃないかな。

T: あー、ブラジルに帰ったらそういういじめはなかったですか？

I: あー、ないです。

T: あー、小さい子供、…

I: 逆に〈あー、はい〉、なんか、日本の、文化とかにすごく興味があるんですね、〈あー、はい、はい〉ブラジルの人は。

だから色々聞いてきたり、してたんです。

T: あー、そうですか。

K012

なんか、小さいとき、にそういう、まあ経験されるとちょっと、それでっていう〈うーん、そう〉原因ってあ、あるんでしょうかね。

I : んー、多分そうじゃないかな〈うーん〉。

でも、まあ、あの、今では日本も〈うん〉すごく好きだし〈うん〉、向こうにいと、あー日本に行きたいなって…

T : あー、そうですかー。

I : 感じもあるんですけど〈ふーん〉、でも住みたいのは、なんか、やっぱり、ブラジルだと思います。

T : あー、そうですか。

あの一、人と、こう、お友達になるとか、人とコミュニケーションっていうことから考えるとね〈はい〉、最近ね、特に日本では、あの一、お、人との関わり方がね、苦手な人って言うのが、…

I : いっぱいいますね。

T : 増えて、きてますよね。

あの一、まあ、アルバイトであれ〈はい〉、大学生であれ〈うん〉、色々な、あの人があるという問題に、なっている人があると思うんですが〈はい〉、そういうことについては何か、考えたことはありますか？。

I : んー、まあ、そういうところが〈うん〉、結構、向こうとは違うっていうことは、考えたことあるんですけど〈うん〉、なんか、理由とか原因って難しいですよ〈うん〉。

よく分からないんですけど〈うん〉、やっぱり、今まで学校でも〈うん〉、いま日本語学校で〈うん〉、なんか、時々、まあいろんな文章読んだりして〈うん〉、なんか、結構あるんですよ。

例えば、あー、もう、僕は小さい頃〈うん〉、なんか、教室で〈うん〉好きな人と組みなさい〈うん〉っていったら緊張してたとかっていう、なんか〈ふーん〉、作文とかがあるんですけど〈うん〉、なんか、いつも仲間はずれにされるから。

T : それは日本の人ではないでしょう？。

I : あっ、日本です。あの一…

T : えっ、学校の作文って言うのは日本語学校じゃないんですか？。

I : あっ、今の日本語、で〈はい〉、あっ、生徒のさ、作文じゃないんですね〈はい〉。

なんていうのかな、例えば、あの一、たん、んーと、たん、短編、小説、小説とかを読んで、…

T : あっ、日本人が〈はい〉書いたものですか？。

I : はい〈あー〉。

でそういうので〈ええ〉、なんか、二つくらいそんな感じのを読んだことあるんですけど〈はい、はい〉、なんか、あの一、向こうでは一〈ええ〉、まずそういう、ことが書いてある本は、一つもないと思います。

例えば〈あー〉、小さい頃こんな仲間はずれにされてたとか〈はいはいはいはい〉、うん。

で、まあ時々そういうこと考えたことがあります〈んー〉。

どういう人がこれ読むのかなーとか〈んー、んー〉。

まあ、あたしは日本語学校で出されたから読んだんですけど〈んー、んー〉。

うーん、やっぱり、こういう経験をしている人がいっぱいいて〈うん〉、なんか、自分もこういうことになったから、なんか読んでも人がいっぱいいるのかなーって〈んー〉考えたことあるんですけど。

T : んー、それはその、そういう人を生む出さないためには、そういう情報って言うのを〈はい〉、隠す、って言うようなことはあるんでしょうかね〈{笑}〉、日本では全部こう出していると思うんですけど？。

I : そうですねー。

T : ブラジルではわざとこう小学生に出さないようにしているとかそういうことは無いんですか？。

I : んーと、まあ、もしそうだったら、まあ、あたしもまだ知らないんですけど〈うん〉、んー、ほんとに読んだことがないし〈うん〉、んー、あと、やっぱり、いじめ、とかは〈うん〉、外国人だけに対してだけじゃなくて〈うん〉、なんか、ほんとに、まあ全体的にいじめは〈うん〉、日本の学校のほうが多いっていう感じはしたんですね〈はー〉、あたしは。

で、なんか、実際、うーんと、日本人で〈うん〉、そういういじめとかにあって〈うん〉自殺する〈うん〉子供とかも〈うん、うん、うん〉いっぱいいるし、向こうでは、そういう事件は、あんまりないです、うん。

T : あー、実際に無いんですか？。

I : 無いですね。

T : みに、聞いたりした事もないですか？

I : 聞いたりしたこともないです。

K012

T: その、情報操作って言う意味ではなく。

I: 例えば、まあ〈はい〉、よく、んー、なんだろ、例えば恋人と〈うん〉恋愛関係がうまくいなくて〈うん〉自殺したりする人はいるんですけど〈はい〉、いじめとか友達がいなくて〈はい〉自殺する人は聞いたことないです。

T: あー、そうですかー。

I: ブラジルでは。

T: じゃあ将来〈はい〉、こう、まあ、ご結婚なさって〈はい〉{笑}、お子さんとかが、生まれたりしたら〈はい〉、どちらで、育てたいと思いますか？。

I: まあ、今、は、ブラジルで育てたいって思うんですけど。

T: あー、そうですかー〈はい〉。

その理由は、

I: でも、やっぱり自分の故郷だから。

T: あー故郷、って意識はやはり、ブラジルに〈はい〉、うん〉あるんですね、はい。

I: でもやっぱり、まあ、未来になったら何が起こるかわからないし〈うん、うん〉、うん、日本に住むことになったら日本、にも住めますし〈うん〉。

いま家族も日本にいます。

T: はい。

あの一、とつても、なんて言うか失礼な言い方かも〈あー**〉しれませんが、あの一教育レベルとかね〈はい〉、そういう点で〈はい〉、あの一、ブラジルと日本を比べるといかがですか？。

I: んーと…

T: お子さんのことを考えるときに。

I: んー、教育レベル、は、まあ今自分が感じてるのは〈はい〉、例えば、数学とか、は、なんだろ、あー、結構日本って進んでるんですね〈うん〉、ブラジルと比べると〈うん、うん〉。

ただ、やっぱり学校は、〈うん〉そういう数学とか物理とかそういう、技術だけを学ぶところじゃなくて〈うん〉、まあ、いろんな人生のことを学ぶ、〈うん〉ところだと思うし〈うん〉、うーん、まあ、そういう、ところで〈うん〉、そういう面でも〈うん〉、やっぱり、自分の子供は〈ええ〉、ブラジルで育てたいです。

T: あー、そうですか。

でも、やはり、こう、自分自身、知識を身につけて、より高い学歴を、もって〈はい〉、社会で活躍するってことは、お子さんにとつても、幸せじゃないですか？

I: あー、そうです。

でも〈はい〉、まあ、向こうでも、やっぱり大学を出て〈うん〉、大学院とかいってる人もたくさんいるし〈うん〉、まあ、あの一、ただむ、難しいのはお金が無きゃいけないんですね〈うん〉。

まあ、日本もそうなんですけど〈うん、うん〉。

やっぱりでも向こうで、あのちゃんと学費、のお金があれば〈ええ〉、あの、大学も、あの、出れるし、〈ええ〉大学院とかも行ってもらえるんで。

T: あーそうなんですか〈はい〉。

でも、その大学院とかそういうところ、例えばその、最先端技術とか〈あーはい〉、そういうものの開発とか、そういう…

I: あー、日本のほうが進んでますね。

T: ことを考えると、はい、日本のほうが〈はい〉いいですよね〈はい〉。

で、や、そうすると、やっぱり小さいときから日本で育てたほうが、お子さんもチャンスが広がるし、あの一、いくら、あの一、学校は勉強だけじゃないって言っても、〈はい〉あの一、そういう、面で、あの一必要なこと、じゃないですか？。

I: んー、でも、まあ、あたしも、何回も行ったりきたりして、学校とか、結構大変だった〈うん〉んですけど、まあ、例えば一番、いいのは、まあ、ブラジルは、あの、就職の、競争率がすごく激しいんですね〈うん〉。

なんか、いい仕事に就くのがすごく〈うん〉難しくって〈うん、うん〉、自分も今、あのそういう理由で〈うん〉、日本〈うん〉の大学〈うん〉、日本の大学で勉強しようと思ってるんですけど〈うん〉。

うーん、まあ、うーん自分の子供は向こうで育てて〈うん〉、ま、英語とかも、ちゃんと〈うん〉、覚えさせて、日本語も覚えて欲しいし〈うん〉、あの一機会があれば〈うん〉大学は、〈うん〉ちょっと海外で勉強

K012

してもらいたいですよね。

T: 海外というのは？。

I: あ、日本でも〈はい〉、あの一、ま、どこでもっていうかその〈はい〉、やっぱり分野によって〈うん、うん、うん、うん〉違うんですよ。

で、まあ、その自分が勉強したいこと〈うん〉に〈うん〉、なんか、結構進んでる国に行ってもらえれば、〈はい〉いいんじゃないかな。

そのほうがやっぱり、ブラジルに戻ったら〈はい〉、いい仕事に就けると思います。

T: あっ最終的にはブラジルに戻る〈{笑}〉ってことなんですね {笑}。

I: はい〈そうですか〉、なんか向こうの〈うん〉なんだろう〈うん〉、生活〈うん〉って言うのが〈うん〉、なんか、すごく違うんですね、日本の生活と。

T: はあ一、そこの違うっていうところをちょっと詳しく教えていただけるとうれしいんですけど…

I: ん一と、なんだろう、例えば向こうでは、どんなに忙しくても、なんか、ちゃんと友達に会ったりする、時間はあるし、なんか、楽しいことがいっぱいあるんですね。

なんか、あの一、まあ、家とかも広いこともあって、なんか、家が広いから、友達いっぱい呼んで、なんか、みんなでうちで集まって、なんか、色々ワイワイ話したりできるし、日本では、なんか、よく、あの、私が経験したことで〈うん、うん〉、こう、なんか大勢、人を、うちに集めると、なんか、家とかも狭いし、〈うん〉近所の家がすぐ近く〈うん〉、ほんとにすぐ隣〈うん〉なので、なんか、近所迷惑になっちゃって〈うん、うん〉、なんか、近所迷惑になっちゃって、なんか、クレームとかが〈うん、うんうん〉きちゃうし、なん、色々そういうことができないんですね。

T: うーん。

でも、その、なんていうか、プライベートの時間っていうのすごく大事でしょう。

だから〈はい〉、あんまりこう何か自分がしてるときにワイワイ友達が来たりとかっていうの、うるさくないですか？

I: あっ、でも、そうですね、例えばプライベートの時間もあるんだけど、あの一、たまに、一週間に一回ぐらい、友達たちと、集まったり、するのすごく、あの自分は楽しいと思うんですね。

T: あ一、時間を作る〈はい〉ってことなんですか？。

I: で、なんか、日本は〈ええ〉、仕事してる時もそうなんですけど〈ええ〉、なんか、忙しいときは、ほんとに時間があつという間に過ぎちゃって〈ええ〉もうなんにもする時間がないんですね〈はい〉。

で、ん一、なんでそこが違うのか良くわからないんですけど。

T: そのどういう風にうまく時間を作っているんですか？。

あの一、…

I: そうですね〈はい〉。

なんか、私も、何回か自分で考えたことがあって〈ええ〉、うーん、まあ、結局わからないんですけど〈うん〉、やっぱり、日本で忙しいって言ったら〈うん〉、ほんとに、まあ、仕事だけとか勉強だけで忙しくなって〈うん〉、自分の時間が作れないんです〈うーん〉、日本では〈うんうん〉。

で、ブラジルでは、忙しくても、まあなぜか知らないけど作れるんですよ。

T: うーん。

と、人との関わりっていうことを考えると〈あ一、はい〉、ブラジルがいいということ、なんですかね。

I: あ一、でも日本も大好きですよ {笑}。

T: あ一、そうですか。

ただね、今ね〈はい〉、日本ではやっぱりニート、っていうような問題もあって〈はい〉、人と関われない〈あ一〉っていう人がどんどん増えているんですよ。

で、こう、【I】さんず一と、ブラジルでそういう人間関係を大切にそ、あの育ててきて〈はい〉、で、お子さんもブラジルでっておっしゃってるけど、もし今日本で〈はい〉、そういうニートの、対策を、あの一、考えるような〈はい〉職場に、いるとしたら、どんな方法を考えられますか？

I: いや一、結構難しいですよ〈はい〉。

ん一、もちろんん一、そういうあの一、たい、対策っていうんですか〈うん〉、そういうことが進められるんだったら〈うん〉、もちろん自分、が協力できることは〈うん〉やりたいです。

T: どんな風なことを協力〈うーん〉、していただけるとしたら？。

I: まあ、いろんな、しん、心理学じゃないんですけど〈うん〉、やっぱり、あの一、そういう、学校とかで、

〈うん〉講義をしてもらったり 〈うん〉、あと、今、自分の個人的な考えなんですけど 〈うん〉、日本で 〈うん〉、あの一、ブラジル人学校とかがあるんですね 〈はい〉。

で、まあ、一度私がやってみたいのは 〈はい〉、そういうブラジル人学校の生徒たちと 〈はい〉、まあ、日本語、あ、日本の 〈はい〉 小学校とか中学校の生徒たちとの交流とか、まあ…

T: あー、そういうのは今 〈はい〉 ないんですか？

実際には少ないんですか？

I: あんまりないですね 〈あー、はい〉、はい。

いま奨学金で来てて、いろんな活動とかはしてるんですけど 〈ええ〉、まあ、例えば、あの、友達で、うーんと、日本の小学校とか中学校で、ブラジルを、紹介、したりしている友達はいるんですね 〈うん〉、いま大学院で 〈うんうん〉。

ただ、やっぱり、あの一日本の生徒とブラジルの生徒たち、をなんか一緒にして、楽しいこと、をしたら 〈うん〉、まあ、お互いの、文化とか 〈うん〉、習慣とかについても色々知ることができると思うし 〈うん〉、あの一、結構そういうことで、どんどん、あの一、なんか世界を見る目が変わると思うんですね 〈はい〉。

なんか、あつ、自分とはぜんぜん違う、こういう人がいるんだなとか 〈うん、うん、うん〉。

そういうことを知ること…

T: こう、心を閉じている人っていうのは 〈はい〉、世界を見ようっていうもう、その気持ちが、土台ないのかもしれないですけどね。

I: そうですよ。

T: はい。

そこをどういう風に、〈んー〉しますかね？

I: 難しいですね。

んーまあでもやっぱり、一番いいのは、ゆっくり話すこと 〈うーん〉 じゃないですか、うん。

そういう、うん、やっぱり問題がある子供たちには 〈うん〉 もっと時間をかけて 〈うん〉、いろんな話をしたり 〈うん、うん〉、まあ、どういう問題があるのか 〈うん〉、例えばね、家庭で何か問題があるのか分からないし 〈うん〉、なんか、いじめられる子供は 〈うん〉、なにか、ちょっと変わってる、なんか他の子と、友達と 〈うん〉、少し変わったところがあるからいじめられるんですね。

T: あー、でもニートって言うのは、いじめられているかどうかわからない 〈あー、はい〉 けれど、あの一、とにかく働かないし、勉強も、全くしないし、…

I: あー、そうなんですかー。

T: はい。

えー、…

I: でもやっぱり…

T: まあ、仕事もトレーニングもしていない、っていうような、ただうちにいるっていうような人なんですけどね。

I: あー、なんか、あの、ひき、引きこもりみたいな感じですか？

T: そうですね、はい。うん。

I: でも、まあ、そういう、まあ、私が考えるのは 〈はい〉、あの一、なんていうのかな、やっぱり、自分の話を 〈うん〉、全部聞いてくれる相手がいらないんじゃないかな。

T: やっぱり小さいときからそういう 〈はい〉 環境を整えてい、くんですかね…

I: うーん、小さいときからもそうだし 〈はい〉、で、あと、まあ、もう成長している人たちは 〈ええ〉、やっぱり、そういう、なんか、話を、きい、聞いてあげて 〈ええ〉、あの、色々アドバイスとかできる人とか必要じゃないんですかね。

T: あー、じゃあ、その、私はいまお話を聞いて、小さいときからじゃないとその対策間に合わないんじゃないかと思いましたけど、…

I: あつ、そうですかー {笑}。

T: でも、あの、どうですか？

I: まあー、うん、まに、うーん、まあ小さい、ときからのほうがやっぱりいいと思うんですけど 〈ええ〉、あの一、まあ、今、もう成長してる人はしょうがないって感じじゃなくて {笑}、うーん、まあ何かできることは 〈はい〉、うーん、何か色々話を聞いてあげたりすることじゃないかな。

やっぱり、そういう、引きこもりとかになる人は 〈ええ〉、ちゃんと自分の話を全部聞いて 〈うん〉、なん

K012

か自分のことを全部話せる〈うん〉、話せるくらい親しい〈うん〉親友とかがいないんじゃないですかね{笑}。

T： そうかもしれないですね。

I： そう思うんですけど。

T： はい、わかりました。

えーと、【I】さんって〈はい〉、旅行とかはたびたびなさってるんですかね？。

日本とブラジルを行き来して。

ホテルなんか泊まったってというのはどうですか？。

I： うん、まあいったことはありますけど {笑} 〈{笑}〉。

T： そうですかー。

I： はい。

T： ちょっと、あの、…

I： いつでも行くところじゃないです。

T： じゃあ、これ、このロールプレイを今からしたいんですけど〈あつ、はい〉、これ、えーっと、お願いします。

I： あつ、読めばいいですか？

T： 予約をして、はい。

I： 予約金を払ったはずなのに、到着したホテルでは…ホテルは満室だとしています…

T： じゃあ、私は、ホテルは満室だと主張している、〈はい〉ホテル側のホテルの従業員です〈はい〉、はい {笑} 〈{笑}〉、ですね。で、フロントで話をしますので。

I： 満室ですか？。

T： あつ、いらっしゃいませ。

I： あつ、こんにちは。

えーと、今日予約をしていた、〈はい〉【I】と申します。

T： あつ【I】様〈はい〉、ちょっとお待ちくださいませ〈はい〉。

【I】様、ご予約、は頂いていますか？。

I： はい、あの一、お電話で〈ええ〉、まあ、なにになにさんと話しを伺ったんですけど。

T： あ一、そうですか〈はい〉。

私担当の森なんですけれども、…

I： あ一、そうですか。

T： あの、えーっと、予約は、お受けは、していないようなんですね。

I： えっと、じゃあ、今日泊まるのは…

T： ちょっと…

I： じゃ無理ってことですか？。

T： そうですねー。

あの一、このホテルは、満室で〈はい〉、30分くらい、ちょっといったところに、あの一、別のホテルがありまして〈はい〉、少しこのホテルとは雰囲気が違うんですが。

I： あつ、そうですか。

T： はい。

あの、いかがでしょうか？。

あの一、バスでお送りいたしますが？。

I： えーと、…

T： ちょっと、あの一、景色が悪くなるんですが。

I： {笑}、そうですか。

T： はい。

あ、お値段は、少し割り引かせていただきます。

I： えーと、ま、あの一、シングルルームとか〈ええ〉、ツインルームもないですか？。

T： ないんですね、ごめんなさい。

あの、というかほんとに、えー、お受けしていないようなんですね。

I： あ一そうですか〈はい〉。

あ一、じゃあ、あの一、自分でもう一度探してみます。

K012

- T: あー、そうですか〈はい〉。
あの一、今ちょっとシーズンですので〈はい〉、どちらも満室かと思います。
あの一…
- I: あっ、そうですか。
- T: ええ。
たまたま、あの、こちらその30分先の〈はい〉ホテル、たまたま今日、〈はい〉あのキャンセルがでて、空いているお部屋、なんですけれども、いかがでしょう？
- I: えーと、じゃあ、一応ちょっと、検討してみて〈ええ〉、また、あの一、見つからなかったら〈ええ〉戻ります。
- T: あっ、わかりました〈はい〉。
じゃあお待ちしております。
- I: ありがとうございます。
- T: どうも失礼いたしました。
じゃ、今の出来事を〈はい {笑}〉、あの一、すごく仲のいい日本人の友達に〈はい〉話してみてください〈えー〉。
私その日本人の友達になります。
いいですか。
- I: あー、ま、普通に話せばいいんですよね？。
- T: あっ、ゆみちゃん、ゆみちゃん、あーゆみちゃんじゃん。
- I: あー、久しぶり。
- T: 久しぶり、元気？。
- I: うん、元気。
- T: えっ、この間、旅行に行ったって言ってたでしょ？。
どうだった？。
- I: うん、行ったんだけど、なんかホテルに着いたら〈うん〉、あの一、予約をしてないとか言われて〈えー〉、なんか、満室だったんです。
- T: えっ、したの、ちゃんと？。
- I: あっ、しました、うん。
- T: したの？。
- I: したんだけど〈うん〉、なんだろう、なにか多分むこうの間違いで〈うん〉予約が入ってなかったみたいで。
- T: そんなの怒ってやればいいじゃん。
怒った、ちゃんと？。
- I: あー、うーん。
ちょっと、私おこ、あんまり怒れる、うん、ほうじゃない…
- T: あー、そうなの。
- I: から。
- T: でどうしたの？。
- I: 結局、自分で〈うん〉、他のホテルちょっと探してみ、みて〈うん〉、まあまあなの見つかりました。
- T: あー、本当。
どうだった？。
よかった？。
- I: うーん、まあ、良くはなかったんだけど〈うん〉一応寝れたから。
- T: あー、ほんとに、残念だったねー〈うーん〉。
失礼しちゃうね、そのホテル。
- I: ねー、もう二度と行きたくない {笑}。
- T: あっ、本当。
はい、どうもありがとう。
- I: どうもありがとうございます {笑} 〈{笑}〉。
- T: そっかー、こうね、日本の夏ってどうですか、ブラジルと比べると？。
- I: あー、もうすっごい暑いです {笑}。

K012

T : あー, ブラジルのほうが過ごしやすいですか, 夏?。

I : はい。

なんか, 日本の冬は〈うん〉向こうより厳しいし〈うん〉, 夏もつらいですね {笑}。

T : 今日, ちょっとね〈はい〉, 涼しくなりましたがね。

じゃあ, これから, えっと, 学校は, いつからですか?。

I : あっ, 学校はもう午前中だったので…

T : あっ, もう今日〈はい〉始まってますか?。

I : あっ, はい, 始まっています, はい。

T : あー, そうですか。

これから, ちょっと, またまた, あのこれから, 〈はい〉まだちょっと暑い日が続きますけど, 〈はい〉元気でがんばってくださいね。

I : 今日は, どうもありがとうございました。

T : ありがとうございました。